

経営比較分析表（令和4年度決算）

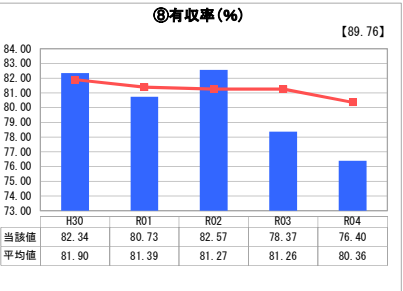
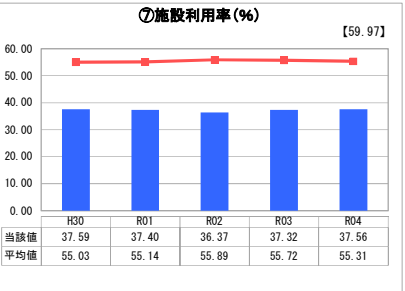
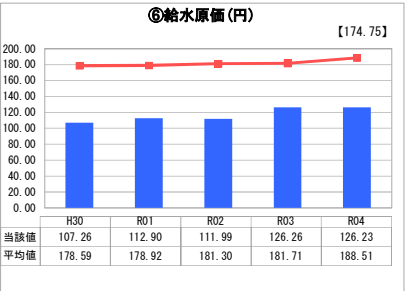
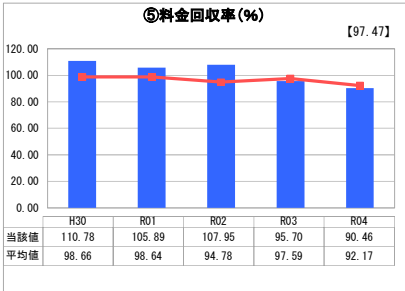
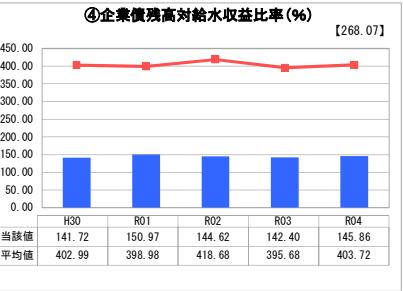
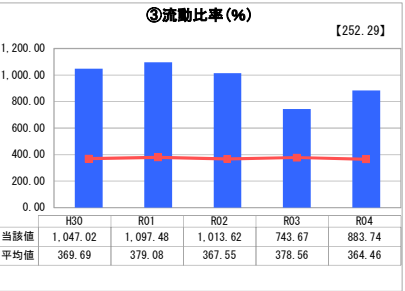
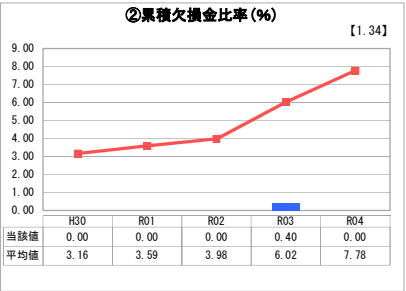
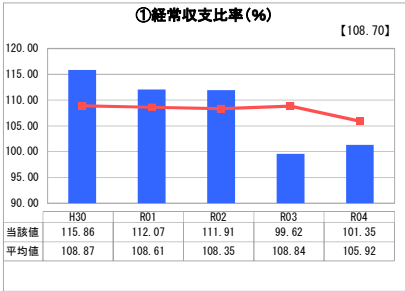
群馬県 沼田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	85.36	51.84	2,510	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
45,305	443.46	102.16
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
23,288	9.85	2,364.26

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

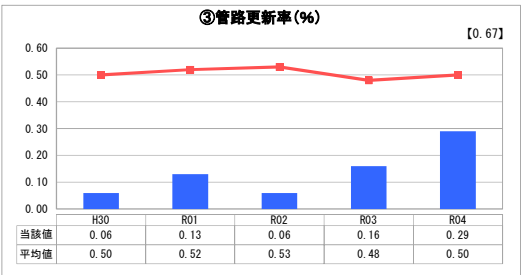
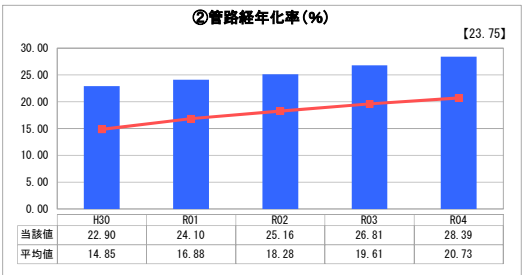
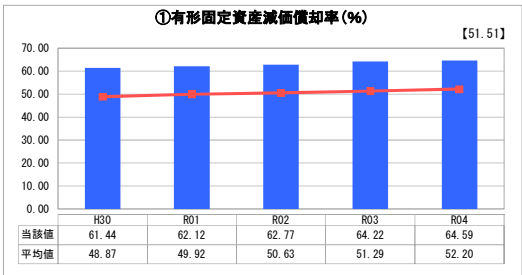
1. 経営の健全性・効率性について

- 前年度は修繕費・委託料の増加による費用過多により100%を下回る状況となったが、委託料および修繕料が前年と比較し減少したため100%台に持ち直した。老朽化した施設の更新や使用料見直しに取り組む時期に来ている。
- 欠損金は発生しなかったが、今後も発生させないための経営努力をしていく必要がある。
- 前年と比較し数値は改善されたが、今後は施設の更新に伴い悪化する予想される。支払能力を高めるための経営努力が必要である。
- 残高対給水収益比率は類似団体と比較して低く抑えられているが、今後、多額の費用を要する浄水施設の更新に企業債を活用予定であり、悪化傾向となる見込みとなるため、適切な起債計画・運営が必要である。
- 水道基本料金減免を実施したため給水収益が減少し、数値が悪化した。昨年と比較し漏水が顕発しており、修繕費についても増加が予想される。100%以上維持するための経営努力が必要である。
- 類似団体の平均値よりかなり低い水準であるが、前年度とほぼ横ばいである。老朽化した管路の更新により有収率の向上を図る必要がある。
- 施設利用率は30%代後半で推移しており、類似団体の平均値より低い状況である。施設更新の際は給水人口に応じた規模で検討する必要がある。
- 昨年より数値が悪化した。管路施設老朽化に起因する漏水により昨年度から悪化傾向にあり、改善のきざが見られない状況である。経年劣化した管路の更新が急務である。

2. 老朽化の状況について

- 60%台であり、類似団体の平均値より高くなっている。施設の老朽化の進行、それに伴い浄水場の新設を控えているため、今後も高くなることが予想される。
- 20%台後半と高く、類似団体の平均値と比較しても耐用年数を超えている管路の割合が高い状況が続いていることから、計画的な管路の更新が必要である。
- 類似団体の平均値と比較しても低く、管路更新が大幅に遅れている状況であるが、昨年度に比べ微増となった。更新に必要な財源の確保や経営に与える影響を踏まえた分析を行い、投資計画を見直す必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

今年度は水道料金減免により給水収益が減少したことにより、料金回収率が大幅に減少した。また、老朽化した浄水施設の更新も急務であり、経営改善の実施が不可避となっている。今後は使用料の改定を踏まえた経営戦略の見直しを早急に行い、計画的な施設更新により安心・安全な水道水を継続的に供給できる体制を確保する必要がある。